公益組織人京都勤労者学園の概要

(愛称:ラボール学園)

公益社団法人 京都勤労者学園

事業部会

2

2

1

9

受講生への就労支援の取組・

(京都ジョブパーク等との連携)

・受講生への意識付け

・ 就労支援の情報発信

・就労支援策の提供

(求人情報の提供など)

・無料職業紹介免許の取得

学校部会

2

2

1

9



設立目的

勤労者の能力の向上、仕事と 生活の調和の実現及び質的向上 に寄与すること

法人の活動

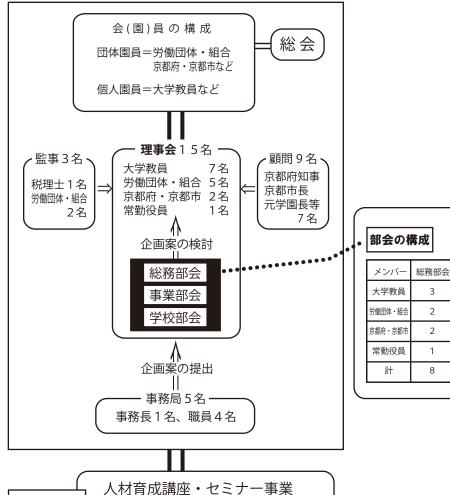
勤労者の就労の支援として知 識・技能と教養を高め、その能 力と地位の安定と向上を図る社 会文化教育に関する事業を行う。

事業の企画・運営の流れの特徴

勤労者に対する意識調査などを通して勤労者のニーズを把握して事務局案を作成し、理事会の中の部会で検討して、理事会及び総会で承認し、実施する。



受講料の低廉さ以外の、民間カルチャー施設との大きな 相違点



公的目的事業の詳細

公1 人材育成講座・セミナー事業 ⇒

有料

- (1) <u>京都労働学校</u>=京都市からの受託事業で夜間常設
- (2) 府市民教室文化教養講座=京都市との共催事業で午前・午後に開講
- (1) 公開セミナー

無料 (2)

- (3) 他団体との協働及び講師斡旋による講座
- (注)下線事業の開講内 容等は、別紙の受 講案内書を参照

公2 調査・資料収集・情報提供事業 ⇒ (1) 勤労者の意識及び実態調査

法人の活動

対 象 者

(2) 労働関係各種資料・図書の収集と保存

求職者支援訓練事業

調査・資料収集・情報提供事業

不特定多数の勤労者

16歳以上(全日制の高校生を除く。)の方なら誰でも受講可能

(3) 勤労者への情報提供(紙及びインターネットによる配信)

収益事業 人材育成講座・セミナー事業 ⇒

有料

- (1) 京都労働学校の一部
- (2) 府市民教室文化教養講座の一部

事業の公開・広報

学園のHPはもとより、京都市の市民しんぶんや市政広報板の活用及び京都府・京都市関係の公共施設での 受講案内書の配架を中心に、広報活動を行っている。